

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

心臓カテーテルアブレーションにおける心腔内エコーによる心房中隔測定および心内電位記録からの心房細動再発率の後ろ向き研究

2. 研究責任者

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 循環器内科 金子鎮二

3. 研究分担者

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 上原敬尋

4. 研究の背景と目的

心房細動は脳梗塞や心不全などの原因となる不整脈であり、近年高齢化に伴い患者数が増加しています。カテーテルアブレーションはその中でも近年進歩を続ける分野の一つであり、症状が強い患者などに対して第一選択となることも多い非常に有用な治療として知られています。これまで様々な心房細動アブレーションに関する検討が行われてきましたが、手技の年単位の成功率を検討する論文が多く出る中で心腔内エコー所見と再発率、心内電位と再発率を検討する研究は報告がありません。本研究は心腔内エコーの所見と心房細動アブレーション後の心房細動再発率を検討し再発予測因子を明らかにすることを目的としています。この研究を行うことで患者さんの長期フォローアップの治療戦略を治療後早期から組み立てることができるようになることが期待され、また将来的には治療開始前にアブレーションの戦略をエコー所見で検討できるようになることも期待されます。

5. 研究の方法

心房細動アブレーションを受けた患者さんのうち、心腔内エコーの所見と心房細動アブレーション後の心房細動再発率を調査します。また下記に記載した項目を調査することで、再発予測因子について検討します。

①対象となる患者さん

2014年7月1日から2017年3月31日までに心房細動アブレーションを受けた患者さん

②使用する資料等

電子カルテ等から収集する情報：心腔内エコーの計測情報、心内電位の記録、年齢、性別、心房細動のタイプ診断、糖尿病合併の有無、高血圧合併の有無、脂質異常症の合併の有無、血管イベント、肺静脈内電位（アブレーション前後）、心房中隔の厚さ（アブレーション前後）、各4本の肺静脈隔離に要した時間、体内の水分の出入り、手技時間、透視時間、透視線量、検査日、再発日

6. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで管理します。研究で得られた情報等は研究協力機関である名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科に提供される可能性があります。個人が特定できる情報を削除した上で提供します。また研究で得られた情報や研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

7. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連豊田厚生病院 循環器内科 金子鎮二

Tel: 0565-43-5000 Fax: 0565-43-5100